

国立駅周辺 整備事業 の現在 (2021 改訂版)



令和3 (2021) 年2月
国立市

はじめに

国立市は、JR中央線連続立体交差事業に伴う国立駅南北の一体化を、人を中心にした個性あるまちづくりを行う好機と捉え、平成21(2009)年11月に「国立駅周辺まちづくり基本計画」(以下、基本計画)を策定いたしました。

基本計画策定後、市民参加の国立駅周辺まちづくり会議を設け、駅前広場のあり方などを検討し、基本計画に記された事業の実現に向けた、関係者、関係機関との協議などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、旧国立駅舎再築事業等の公共施設整備事業に関しては、平成27(2015)年4月に都市再生整備計画に基づく社会資本整備総合交付金対象事業として国に採択され、令和元(2019)年度までに補助事業である旧国立駅舎再築事業、国立駅南第1自転車駐車場整備事業、高架下市民利用施設整備事業を完了しました。また、国立駅周辺の道路整備事業に関しては、東京都の市町村土木補助等の支援を受け整備を行っています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、令和2(2020)年4月6日に国立のシンボルである旧国立駅舎がオープンしました。三密対策を講じた上で、市の情報発信、観光案内と共に様々なイベントが開催されております。旧国立駅舎は市内外の方に愛され、令和3(2021)年1月現在で、約30万人の方にご来場いただいております。

国立駅南口周辺においては、旧国立駅舎の東西に市内外の人々が集う交流拠点としての広場を整備するために、JR東日本と用地交換の協議を進めています。

また、令和3(2021)年春の段階では、国立駅の南北をつなぐ道路となる都市計画道路3・4・10号線及び西第1条線延伸部(北向き一方通行)が完成・開通することで国立駅周辺の交通体系が整理され、国立駅南口ロータリーを経由しなくても中央線高架の南北通行が可能になるなど交通の利便性が向上します。

さらに来年度以降は、北1号線及び東1号線において歩道を拡幅し無電柱化を実施するなど、歩行者が歩きやすく回遊しやすい国立駅周辺とすることを目指して工事を進めてまいります。

本冊子は、基本計画策定からの経緯を振り返り、国立駅周辺整備事業が現在どのような計画となっているのか、どのように整備されるのかをお伝えする冊子です。広く市民の皆様にご確認いただけると幸いです。

国立駅周辺整備事業は、多くの市民、議会、関係機関、関係事業者の皆様のご理解、ご協力により進められているものです。改めて感謝を申し上げるとともに、引き続きご理解、ご協力をたまわりますようお願いいたします。

これからも多くの人に愛され、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展を続けていくよう、まちづくりを行ってまいります。

令和3(2021)年2月 国立市

1. これまでの経緯

(1) 国立駅周辺まちづくり基本計画

- ・国立駅周辺地域は、国立市の上位計画で、国立市の玄関口として重要な地域として位置付けられています。国立駅周辺のまちづくりを進めていくにあたっての基本的な方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を平成 21（2009）年 11 月に策定しました。
- ・基本計画ではまちづくりの理念を
－まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場－
とし、以下の 5 つをまちづくりの目標として定めています。
 - ①市民が集い、来訪者を迎え、にぎわいと交流のあるまちづくり
 - ②人にやさしい、安全で安心な環境作りや環境負荷低減のまちづくり
 - ③駅周辺の景観とシンボルをいかしたまちづくり
 - ④個性的なまちなみを生かした回遊性のあるまちづくり
 - ⑤出会いと発見、文化を発信するまちづくり
- ・この計画に基づき、以降、事業内容の検討、決定を行ってまいりました。

(2) 国立駅周辺まちづくり会議

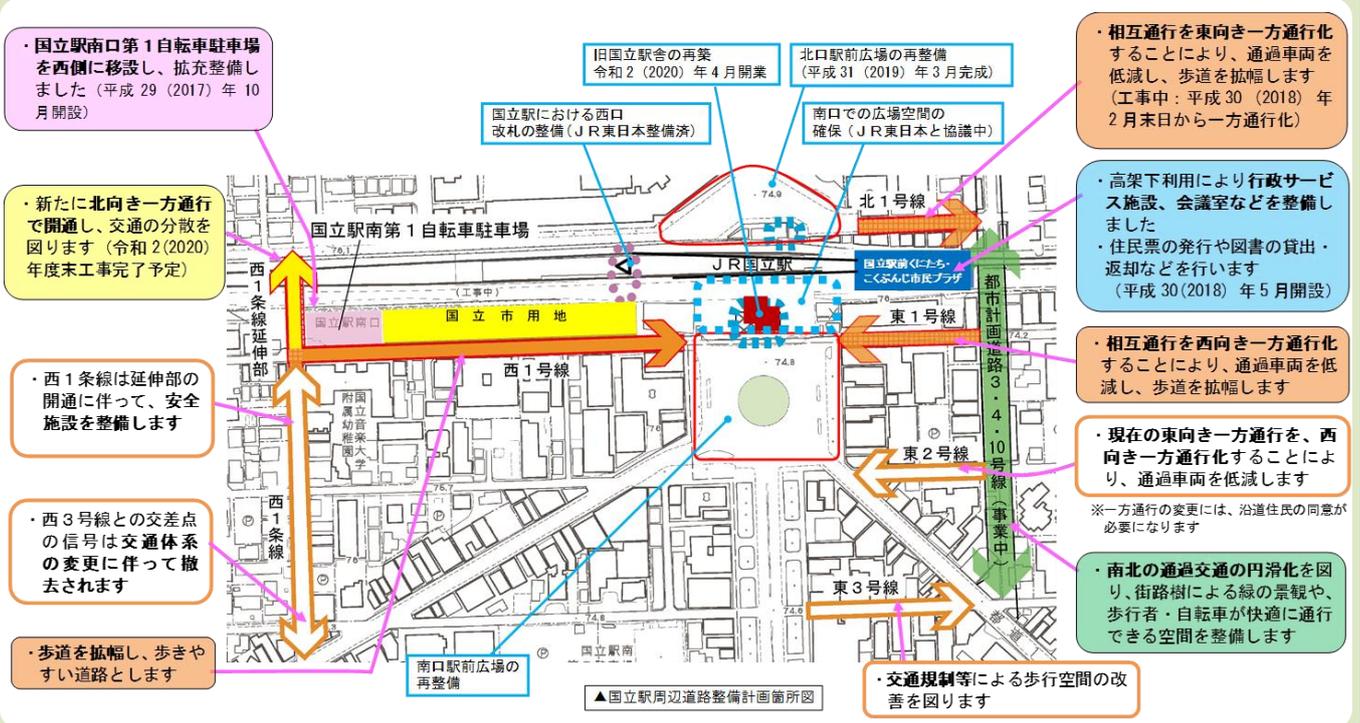
- ・国立駅周辺の整備事業を推進するために、多岐にわたる事業を一貫してコーディネートしていくことを目的に、市民や学識経験者、関係機関等が一堂に会して事業を検討できる組織として、国立駅周辺まちづくり会議（以下、まちづくり会議）を設置し、関係機関との協議に向けた条件整理等の検討を行いました（公募市民 4 名を含む 12 名の委員）。
- ・まちづくり会議は、平成 22（2010）年 8 月から平成 25（2013）年 9 月まで開催され、国立駅南北駅前広場の整備方針、国立駅周辺の交通計画、旧国立駅舎再築を含めた国立駅周辺の景観のあり方、国立市が利用可能な高架下部分の活用方法等を検討しました。
- ・それを受けて、以後の関係機関との協議、事業展開に向けた補助金申請等、事業の具体化については市に委ねられることになりました。

(3) 個別事業の具体化の検討、決定

- ・国立駅周辺の交通計画は、交通管理者との協議を段階を分けて行い、平成 27（2015）年 4 月に北口駅前広場、北 1 号線、西 1 号線、西 1 条線（延伸部含む）の協議を終了し、平成 28（2016）年 1 月に南口駅前広場、東 1 号線の協議を終了しました。
- ・北口駅前広場整備事業は、平成 31（2019）年 3 月に完了しました。
- ・都市計画道路 3・4・10 号線整備事業は、平成 30（2018）年度には電線共同溝設置工事等を行いました。令和 2（2020）年度は道路築造工事を行っており、令和 3（2021）年春の開通を目指しています。
- ・旧国立駅舎再築事業は、J R 東日本のご協力のもと平成 29（2017）年 2 月に用地売買契約を締結し、平成 30（2018）年 6 月に工事着手し、令和 2（2020）年 4 月に施設を開設しました。
- ・高架下市民利用施設整備事業は、広域連携の観点から、共同で施設を設置するための国分寺市との協議、平成 29（2017）年度の整備工事を経て、平成 30（2018）年 5 月に施設を開設しました。
- ・南口複合公共施設整備事業は、平成 27（2015）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画（素案）」の策定、パブリックコメント等を行い、平成 28（2016）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめました。平成 29（2017）年は事業者ヒアリング等を行いました。

2. 国立駅周辺整備における各事業の整備内容

(1) 国立駅周辺道路整備事業



▲各路線の整備内容

【整備の考え方】

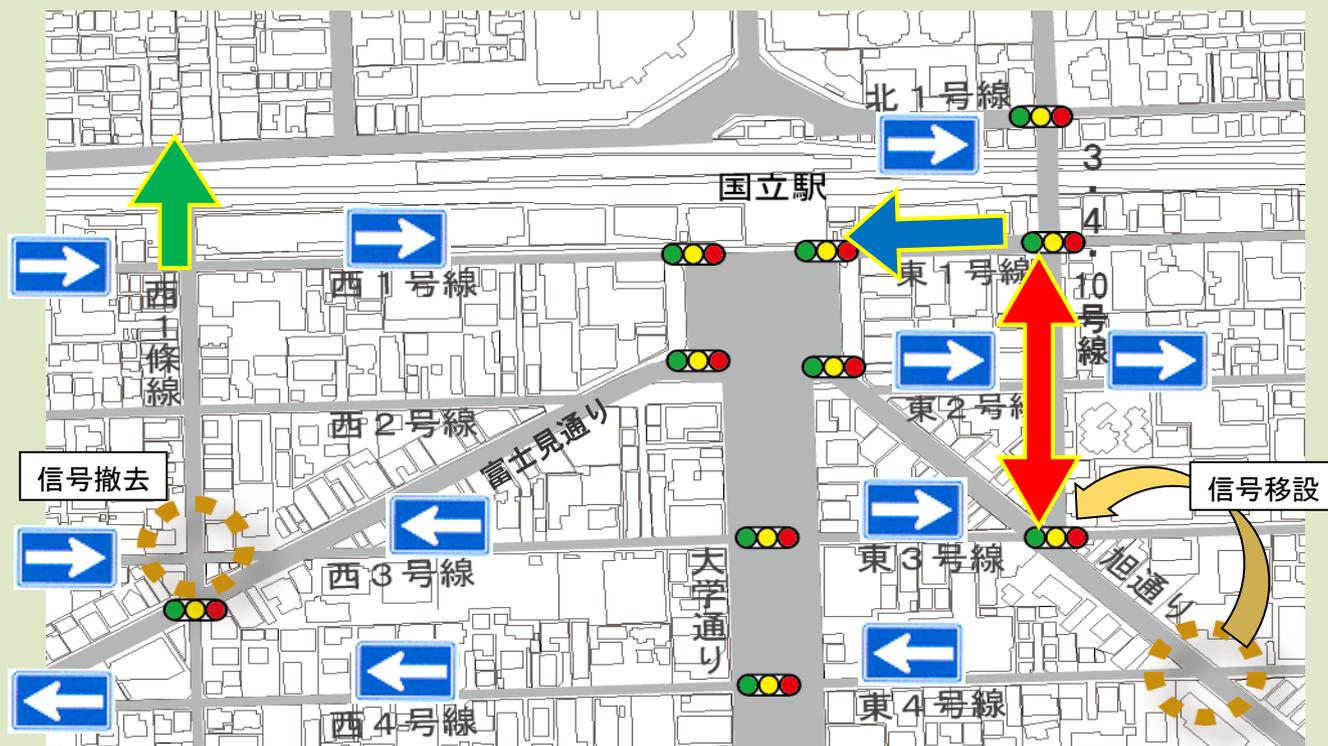
- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。
- ・また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します。
- ・都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線については、電線共同溝を整備し、電線を地中化することで、良好な道路環境とします。
- ・これまでに国立駅周辺まちづくり会議で議論し、交通管理者と協議してきた広場計画等の内容を踏まえ、国立駅周辺全体の交通規制のあり方について、整備に向けた協議を行います。
- ・これまでの関係機関等との協議を踏まえた整備の予定は、以下のとおりです。

○整備実施路線：3・4・10号線、北1号線、東1号線、西1号線、西1条線延伸部

○整備検討路線：東2号線、東3号線

※整備検討路線については、路線断面の大幅な変更がないため、道路の損傷状況や財源を見据えて、今後、整備手法の検討を行います。

【交通体系の変更（令和3年春頃予定）】



白抜き矢印：現在の交通規制。 赤・青・緑矢印：令和3年春ごろに開通する道路。変更される交通規制。

（国立駅東側）

- ・都市計画道路3・4・10号線（赤矢印）が開通することにより、国立駅南北交通の主要動線ができます。都市計画道路3・4・10号線と旭通りの交差点は周辺の交差点よりも交通量があること、信号間には一定の間隔が必要であることから、東4号線と旭通りの交差点の信号を移設します。
- ・都市計画道路3・4・10号線の開通に伴い、東1号線が西向きに一方通行化（青矢印）されることで、東1号線の無電柱化や歩道の拡幅など、今後の整備が可能になります。
- ・東1号線と都市計画道路3・4・10号線の交差点の信号は、歩行者横断用信号に変更されます。
- ・東1号線の交通量が減ることにより、南口駅前広場の交通量も低減します。これにより、今後、円形公園や南口駅前広場を活用したイベント等の開催も期待できます。
- ・東2号線と都市計画道路3・4・10号線の交差点は、南北方向に歩道をつなげ、南北交通が優先であることを明確にし、歩行者の利便性及び安全性を確保します。

（国立駅西側）

- ・西1条線延伸部（緑矢印）が開通することにより、南口駅前広場を経由せずに国立駅北側に行けるようになります。これにより交通が分散され、南口駅前広場の交通量も低減します。
- ・富士見通りから西1条線に進む車が増加することが見込まれる中、西1条線と西3号線の交差点の信号は、富士見通り側の交差点と近接しすぎているため、信号を撤去して南北優先の道路とします。
- ・西1条線の歩行者の安全を確保するために、信号が撤去される交差点は南北方向に歩道をつなげ、歩行者及び南北交通が優先であることを明確にするるとともに、歩行者動線を確保するために、西1条線と西2号線の交差点（南側）に東西方向の横断歩道を整備します。

【整備スケジュール（予定）】

- ・都市計画道路 3・4・10 号線 : 平成 30 (2018) 年度 ~ 令和 2 (2020) 年度
- ・北 1 号線 : 令和元 (2019) 年度 ~ 令和 3 (2021) 年度
- ・西 1 号線 : 令和 4 (2022) 年度 ~ 令和 6 (2024) 年度
- ・西 1 条線延伸部 : 令和 2 (2020) 年度
- ・東 1 号線 : 令和 3 (2021) 年度 ~ 令和 7 (2025) 年度
- ・東 2 号線 : 未定 (道路の損傷状況等を見据えて、整備手法の検討を行います。)
- ・東 3 号線 : 未定 (道路の損傷状況等を見据えて、整備手法の検討を行います。)



▲整備後の北 1 号線 (北口駅前商店街沿い) のイメージ



▲整備後の都市計画道路 3・4・10 号線



▲整備後の東 1 号線のイメージ

(2) 国立駅南北駅前広場整備事業

①北口駅前広場整備事業

【整備の考え方】

- ・北口駅前広場は自動車動線を整理し、歩行者の横断距離を低減することで安全性の向上を図りました。
- ・ラチ外コンコース (通称、南北通路) 前に環境空間となる広場を整備して、「北口駅前広場—旧駅舎—南口駅前広場の一体化」を図りました。
- ・北 1 号線の歩道拡幅や J R 東日本の整備による歩行空間「ののち」と併せて、国立駅周辺の回遊性が高まります。
- ・駅側のバス停にもシェルターを整備することで、雨天時等のバス待ちがしやすくなりました。
- ・駅北西側からの利用においては、nonowa 口改札を利用するとより利便性が高く、かつ安全です。



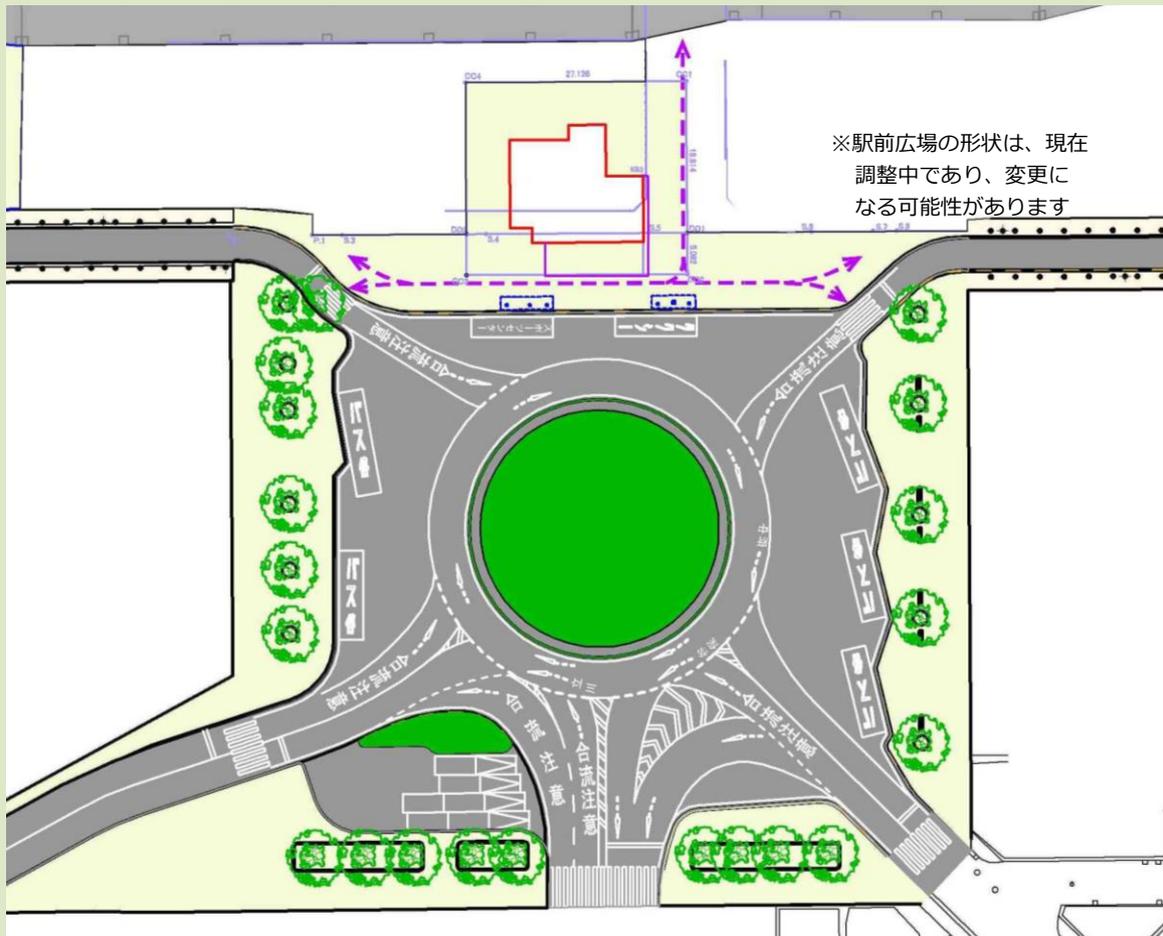
▲整備後の北口駅前広場

【整備スケジュール】

- ・平成 31 (2019) 年 3 月完成



②南口駅前広場整備事業



※駅前広場の形状は、現在調整中であり、変更になる可能性があります

【整備の考え方】

- ・南口駅前広場はロータリー形状を維持したまま、歩行者空間を拡大します。また、交通動線を整理して安全性を高め、バリアフリー対応とします。
- ・円形公園の活用については、イベント時等、非日常的に市民が立ち入り可能となるように検討、協議を行います。
- ・バス停は車いす等でも乗降可能なように、ロータリーの外周に設けることとします。
- ・これに伴い、乗降のバス停が同じ位置となります。

【整備スケジュール (予定)】

- ・令和 6 (2024) 年度 ~ 令和 8 (2026) 年度

(3) 国立駅周辺公共施設整備事業

①各施設の整備コンセプト



- ・国立駅周辺には、旧国立駅舎、南口複合公共施設、高架下市民利用施設を整備し、国立駅周辺だけにとどまらず、国立市全体の魅力を高めます。
- ・上図のとおりエリア別に各施設のコンセプトを設定し、機能を配分して整備します。

②旧国立駅舎再築事業



【整備の考え方】

○旧国立駅舎の配置と景観

- ・旧国立駅舎再築用地の周辺は、都市計画マスタープランで都市拠点として位置付けられています。また、国立市景観づくり基本計画に基づく都市景観形成重点地区候補地に位置付けられています。
- ・旧国立駅舎は大正 15（1926）年の創建当時の姿に文化財として再築しました。

○旧国立駅舎の再築用地について

- ・再築用地は約 648 m²の土地です。そのうち、約 138 m²はもともと市が所有していた土地で、残り約 510 m²は、J R東日本のご協力により、平成 29（2017）年 2 月に取得した土地です。
- ・再築位置は、駅周辺の歩行者動線の検討や J R東日本との協議の結果、元の位置から西方向に約 3m、南方向に約 5m 移動した位置とし、駅利用者の歩行者動線を阻害しない場所としています。

【整備スケジュール】

- ・令和 2（2020）年 4 月 6 日オープン

【旧国立駅舎の活用について】

- ・くにたちの魅力を発信する拠点として活用します。
- ・イベント等の開催場所として、旧国立駅舎の利用を希望する方からの企画提案も適宜お受けします。
- ・開業後数年程度は市直営（まち案内所は業務委託）とします。
- ・活用方法や管理運営に関して意見交換を行う外部組織「旧国立駅舎運営連絡会」を設置しました。



■ 活用コンセプト

市内外の人々が集う交流拠点

さまざまな出会いが生まれる

「まちのラウンジ」

市内情報発信・回遊性の向上

まちの魅力が集まり広がる

「くにたちと出会う玄関口」

文化の発信

文教都市にふさわしい

「歴史・文化・芸術の発信拠点」

■ 活用キャッチフレーズ

三角屋根で“まちあわせ”

元々の駅舎としての機能の一つに「待ち合わせ」があります。これに「まち全体をつなぐハブ機能」や「まちの情報発信機能」といった、くにたちのまちと出会う「街あわせ」という意味を含めました。

開館時間

平日	【広間】 午前7時～午後10時
	【まち案内所・展示室】 午前10時～午後7時
土曜 日曜 祝日	【広間】 午前9時～午後10時
	【まち案内所・展示室】 午前9時～午後7時

※平成 29（2017）年 3月「旧国立駅舎活用方針報告書」より。

③(仮称)旧国立駅舎東西広場および円形公園の整備

【用地交換協議について】

- ・平成 29 (2017) 年に、J R 東日本が国立駅南口に商業ビル 2 棟を建設する計画の報道がありました。この計画に対して、市民やまちづくり推進団体から再考を望む声が上がリ、市議会でも審議されました。
- ・国立駅周辺のまちづくりに資するため、市は国立駅南口の開発の考え方について J R 東日本と協議を開始しました。そして、令和 2 (2020) 年 3 月に J R 東日本と用地交換の方針について確認書を取り交わしました。現在も用地交換の本合意に向けて引き続き協議しています。

▼用地交換の対象地



Copyright©NTT空間情報 All Rights Reserved

▼確認書からの抜粋 (全文は国立市ホームページでご覧いただけます。)

- * 用地交換の位置は、おおむね国立駅南口複合公共施設用地及びJR東日本が所有する旧国立駅舎東西の用地を対象とする。
- * 国立市は、用地交換により譲り受ける用地を広場空間として活用し、原則として建築物の建設及び収益事業は行わないものとする。
- * JR東日本は、用地交換により譲り受ける用地を商業、賃貸住宅等を基本とした、高さ(上限)約 31mの複合用途建物用地として活用する。
- * JR東日本は、国立市が上記の複合用途建物内に設置を要望している子育て支援等公共機能部分約 700 ㎡を市に賃貸することを前提に、複合用途建物の計画を行う。

【(仮称)旧国立駅舎東西広場】

- ・用地交換が実現した場合、旧国立駅舎東西の用地を活用して(仮称)旧国立駅舎東西広場を整備します。再築した旧国立駅舎との調和および国立の玄関口として景観に配慮し、市民が集い来訪者を迎え、にぎわいのある駅前とするためのデザインや機能を検討していきます。
- ・可能な限り多くの市民の声を聴きながら広場整備事業を進めます。また、デザインコンペあるいは設計者選定時等の公開プレゼンテーションを実施することも検討します。



▲旧国立駅舎東西の用地 (西側)



▲旧国立駅舎東西の用地 (東側)

【円形公園】

- ・南口駅前広場の道路整備や(仮称)旧国立駅舎東西広場整備と連動して、円形公園の再整備について検討を行います。



▲円形公園

④南口複合公共施設整備

【整備の考え方】

- ・平成 29 (2017) 年 2 月に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめました。
- ・J R 東日本との用地交換協議の中で、南口複合公共施設整備についても検討、協議しています。
- ・用地交換が実現した場合、J R 東日本が現時点の南口複合公共施設用地で開発を行う計画ですが、国立市は、J R 東日本の開発建物内の約 700 m²を公共施設部分として賃借します。その公共施設部分には「子育て支援機能」を整備する予定であり、次のものを検討中です。

子育てひろば／絵本の部屋／一時保育室／交流広場／自習スペース／たまり場スペース

【整備スケジュール (予定)】

- ・未定

⑤国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ (高架下市民利用施設) 整備

【整備の考え方】

- ・「国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ」は、「市民生活」をコンセプトとして、国立駅の東側高架下 (nonowa 国立 EAST の東側) に整備された施設です。
- ・平成 28 (2016) 年 4 月に国分寺市と「国立駅東側高架下市民利用施設等の整備・利用事業に関する基本協定書」を締結し、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で整備しました。
- ・各種証明書の発行や予約図書引き渡しなどを行う市民サービスコーナー、くにたち男女平等参画ステーション (愛称「パラソル」)、オープンスペース等の機能を有しています。
- ・オープンスペースは、市民交流イベント等を行うことができます。

【整備スケジュール】

- ・平成 30 (2018) 年 5 月 14 日オープン

■施設概要

所在地 国立市北 1-14-1

開館時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 10 時
土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 10 時

閉館日 年未年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

■市民サービスコーナー

利用時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 7 時

休館日 土・日曜・祝日

■男女平等参画ステーション(愛称「パラソル」)

開館時間 平日：午前 10 時～午後 7 時

土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 5 時

休館日 年未年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)



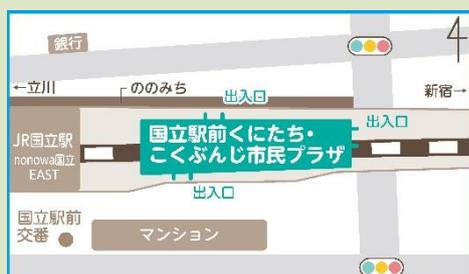
▲市民サービスコーナー



▲オープンスペース



▲男女平等参画ステーション(パラソル)



3. 事業スケジュール（予定）

事業	年 度									
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
西第1号線整備										
西第1条線延伸部整備										
北第1号線整備										
東第1号線整備										
東第2号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。									
東第3号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。									
3.4.10号線(南)整備										
3.4.10号線(北)整備	南工区の進捗及び経済動向を勘案し着手時期を決定します。									
国立駅北口駅前広場整備										
国立駅南口駅前広場整備										

(問合せ) 道路交通課 整備係 ☎042-576-2111 内線351・352

事業	年 度									
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
(仮称)旧国立駅舎東西広場整備	JR東日本と土地交換後に整備すべく協議しています。									
旧国立駅舎再築										
国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ										
国立駅南第1自転車駐車場整備										
南口複合公共施設	JR東日本と土地交換後、JR開発施設内に子育て支援施設を整備すべく協議しています。									

(問合せ) 国立駅周辺整備課 国立駅周辺整備担当 ☎042-576-2111 内線382・383

表紙写真

右列上段：大正 15(1926)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

右列中段：昭和 39(1964)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

左列上段：平成 15(2003)年頃・国立駅前の様子

右列下段：平成 29(2017)年・国立駅前の様子

左列下段：令和 2(2020)年 2月・国立駅前の様子